

種別内容	目標内容	取組内容	内容番号	第26-0002号	第26-0003号	第26-0004号	第26-0005号	第26-0006号	第26-0007号	第26-0008号	第26-0009号	第26-0010号	
				南北の台工具	精細川工務店	大平食品加工	岡部鉄工	明電ケミカル(株)相模原事業所	ホーム食品	東ソー(株)東京研究センター	日本蛍光化学	東急リネン(株)相模工場	
製品の開発・設計等における環境配慮⑦	製品(プライベートブランド商品を含む)に係る製品アセスメント(評価)等を実施する。③	自社製品及び社外から購入する部品等について、想定されている環境負荷のチェックリストを作成する。	070301										
		新製品開発、モデルチェンジ等に当たり、当該製品等が環境へ及ぼす負荷の測定・記録や、製品が廃棄物になった場合の適正処理困難性の評価、製品の生産から消費、廃棄に至る各段階での環境負荷の評価(ライフサイクルアセスメント・LCA)等を実施する。	070302										
		製品の使用時や廃棄時の環境負荷の量をカタログ等に表示する。	070303										
		既存製品についても、計画的に製品アセスメント等を実施する。	070304										
		外部から製品の環境負荷に関するデータの提供の依頼があったときに協力する。	070305										
	環境保全型商品等の販売、消費者に対する情報提供を行う。④	再生資源を使用した商品、再生可能な商品、繰り返し使える商品、省資源・省エネルギー型の商品、容器包装を簡素化した商品、エコマーク製品等を重点的に販売する。	070401										
		上記商品の販売目標を定め、販売促進に積極的に取り組む。	070402										
		販売の際に環境保全型製品の表示、製品アセスメントの結果の表示等を行う。	070403										
		消費者等に環境保全型商品に関する情報を積極的に提供する。	070404										
			070405										
地球温暖化防止対策等⑧	照明設備を適正管理する。①	照明点灯箇所を減らす。	080101	○		◎				◎			
		ライブアップの時間を短縮したり、間引き消灯をする。	080102			◎							
		照明器具は逐次省電力型に交換する。	080103					◎		◎			
		室内とアスタでの照明を使い分ける。	080104										
		トイレなどはセンサー式の照明にする。	080105				○		○				
		昼休みは、一斉消灯、残業時は部分点灯とする。	080106										
		非常口に高輝度誘導灯(※下記参照)を導入する。	080107									○	
		自然光に配慮した照明器具の配置をする。	080108										
		トゾレ、廊下、階段などで自然光を取り入れる。	080109										
		エリアに配慮したスイッチ回路にする。	080110										
		080111						△					
事務機器を適正管理する。②	エレベーターを適正運転する。③	節電、待機モードへ切り替える。	080201										
		複数台設置されているエレベーターでは、利用者の状況や用途に応じて間引運転を行う。	080301										
	高度制御装置を導入する。	080302											
	自動販売機を適正利用する。④	エネルギー消費の少ない自動販売機(ピークカット機能付き)を導入、更新する。	080401										
		自動販売機の台数を見直す。	080402										
		自販機の蛍光灯の消灯に努める。	080403			◎							
	冷暖房設備等を適正管理する。⑤	温度設定は夏期28℃、冬期19℃を目安とする。	080501	○			△	○					
		夏期はブラインドを利用、冬期は太陽光を取り入れ、不要な冷暖房の使用を控える。	080502										
		ヒートポンプシステムを導入する。	080503										
	空調設備を適正管理する。⑥	空調機器を定期的に補修点検する。	080601										
省エネルギー型の空調設備を導入する。		080602							◎				
080603	蓄熱式空調システム(※下記参照)を導入する。	080603											
給湯設備を適正利用する。⑦	給湯器へエコマイザーを導入する。	080701											
	潜熱回収型温水ボイラー(※下記参照)を導入する。	080702											
	太陽熱温水器を導入する。	080703											
	ガス使用量を把握し、削減する。	080704											
ボイラーを適正利用する。⑧	ボイラーの低空気比燃焼等により、熱管理を徹底する。	080801											
	ボイラーの廃熱を利用する。	080802											
	LNG等CO2発生量の少ない燃料に転換する。	080807								◎			
	重油使用量を把握し、適正に管理する。	080808											
	080901	アイドリングストップを実践する。	080901	○									
	080902	使用台数を減らす。	080902										
	080903	使用抑制目を設定する。	080903										
	080904	走行ルートを含理化する。	080904	○									
080905	買換えの際には低公害車、低燃費車を導入する。	080905		○									
080906	重い上り車等を低公害化する。	080906											
080907	アイドリングストップアップドスタート装置のついたバスを導入する。	080907											
080908	ガソリンの使用量を把握し、削減する。	080908											
省エネ設備等を採用又は改修する。⑩	灯油、LPG、LNG、都市ガス、重油を燃料としている燃料設備をエネルギー消費効率のよいものに改修する。	081001											
	複層ガラス、熱反射ガラスを採用する。	081002											
	電力平準化設備を採用する。	081003											
	081101	深夜電力利用機器を導入する。	081101						○				
省エネ対応製品等を購入又は更新する。⑪	水蓄熱システムを導入する。	081102											
	部品の交換修理が可能な製品や保守・修理サービス期間の長い製品、機能拡張性の高い製品を購入する。	081103											
	エネルギー消費効率の高い製品を導入、更新する。	081104											
	081105	適正規模の機器を選択する。	081105		○								
	081201	太陽光発電等を導入する。	081201										
自然エネルギーを活用又は新システム等を導入する。⑫	ガスロージエネレーションや燃料電池ロージエネレーションを導入する。	081202											
	ビルのエネルギー管理システムを導入する。	081203											
	081301	生産用フロン、冷却設備・空調設備の冷媒用フロンの削減又は全廃、ハロン消火設備等の代替又は全廃を行う。	081301										
	081302	特定フロンの回収・適正処理に取り組む。	081302						◎				
	081303	製造工程において、HFCにおいて、HFC、PFC、SF6をどれだけ使用し漏出し、回収し、回収処理に臨む。	081303										
	081304	製造工程において可能な範囲でHFC、PFC、SF6をその他の物質に代替する。	081304										
	081305	HFC、PFC、SF6を使用しない製造工程に変換する。	081305										
	081306	製品購入の際には、できるだけHFC、PFC、SF6を使用していない製品を選ぶ。	081306										
	081307	HFC、PFC、SF6を使用している製品を廃棄する際の回収に取り組む。	081307										
	081308	非フロン系エアゾール製品を購入する。	081308										
081309	代替フロンを回収、再利用、破壊する。	081309											

- 高輝度誘導灯:通常の蛍光灯の代わりに、冷陰極蛍光ランプを使用した非常誘導灯
- ピークカット機能:電気の使いすぎを知らせ、使いすぎ時にはあらかじめ設定した エアコン等の回線を遮断し、不意の全停電を防止するもの
- 蓄熱式空調システム:割安な夜間電力を利用し、冷房時は冷水や氷を、暖房時は温水を蓄熱槽に蓄え、蓄えた熱エネルギーを昼間に使用して空調を行うシステム
- 潜熱回収型温水ボイラー:ガスボイラーの燃料ガスの排気ガス中の水蒸気が水に戻る時の熱(潜熱)を回収し、ボイラー給水の手熱に利用する温水ボイラー
- ヒートポンプシステム:低い温度の熱源から冷媒(熱を運ぶための媒体)を介して、熱を吸収することによって高い温度にする機器で暖房・給湯等に使用する。

登録番号 事業所名	取組の感想
第18-0001号 綾瀬市商工会	<p>事務所内のO A関連用品の使用量削減への取り組みやリサイクル品の使用により少しずつですが、環境負荷の削減に努力しております。</p> <p>会員に対し、アルミ缶とプルタブ、ペットボトルキャップの収集協力を依頼しております。また、広報により企業のみならず市民の皆様もアルミ缶とプルタブを商工会館に持ち寄っていただけるようになりました。ペットボトルのキャップの回収は、エコキャップ推進協会へ提供いたしております。</p> <p>また、会館内に設置した自動販売機は、緑の募金に対応しており、当会並びに自動販売機設置業者が寄付しています。</p> <p>しかしながら、事務所で使っているプリンタメーカーは、リサイクルでなく純正トナーの使用を推奨しており、保証期間内でも純正品を使用していない場合は保証対象外との見解で、リサイクル品が使いにくい現状にある。</p>
第19-0002号 小田急藤沢ゴルフクラブ	<p>照明器具LED化の段階的な実施、電力使用状況の監視や使用先のごまめな調整により需要電力量削減に努めております。また、エコキャップ運動もお客様や社員皆様協力のもと、毎年の提出が継続しております。</p> <p>今年度も、環境負荷の少ないゴルフ場を目指してまいります。</p>
第19-0003号 ㈱ワイ・ケー電子	<p>全社5S運動で不用品を一掃し空いたスペースを有効活用しました。書類や保管品には、廃棄日を明記して管理を進めています。</p> <p>社会貢献活動の一環としてビーチクリーンを行いました。毎年の恒例行事として継続して推進します。</p>
第19-0005号 ㈱横浜製作所	<p>電気の使用量削減については、1時間あたりの使用量目標を達成。廃棄物の分別は徹底されていますが、排出量目標がオーバーしました。排出量が多かったものの代替品など委員会で検討し、削減に努めていきます。</p> <p>また、社会貢献として地域清掃活動の参加回数が年1回に減ってしまったため、平成27年度から「毎月一日に会社周辺を清掃」することになりました。少しの範囲ではありますが、必ず毎月実行していきます。</p> <p>次年度も継続して活動している「本来業務の作業改善の取り組み」を中心に環境負荷の低減に努めていきます。</p>
第19-0007号 ㈱加藤工務店	<p>前年度よりもさらに環境悪化防止のために努力して参りました。特に工場における建築資材のゴミの分別には力を入れてきました。処分には費用が掛かりますが、細かく分別し適切な処分をしています。</p> <p>これからもより良い環境のために、小さな取り組みを重ねていきたいと思っています。</p>
第19-0008号 ㈱ラテン大和	<p>トナーのリサイクル化を続けてきましたが、リサイクルトナーからの漏れが多く、コピー機使用に支障を来す事がしばしばあり（使用済裏紙のインク付着もあり）、エコになっていても、これでは元も子もなくなってしまう感があります。</p> <p>同じことを実践している企業の方にアドバイスいただき、より確実な「エコ」にしていきたいと考えています。</p>
第20-0001号 相鉄バス(株) 綾瀬営業所	<p>平成26年度は、省エネを推進し環境負荷を低減させるため、事務所棟内の照明器具をLEDに代替いたしました。</p> <p>また、車両の代替につきましては、平成26年度は在籍する車両の年式の関係で、新型車両の導入はありませんでした。平成27年度は低公害高燃費アイドリングストップ車、更には、排ガスのクリーン化に役立つ尿素バスの導入を推進するため、4両の新型車両を導入する計画となっています。</p>
第20-0002号 ㈱メイコー	<p>昨年度も、環境予算（ボイラー燃焼方式を重油から天然ガス化）の申請を行ったが、否決されてしまい具体的な環境対応を実施することはできなかった。その中で、間接的ではあるが、30年超の工場棟の外壁補修と、屋上の部分改修を実施。わずかながら遮熱塗装のおかげで、空調負荷の低減を図ることが可能と判断している。その他例年通り、直射日光を遮るための昔ながらの「よしず」やつる性植物の栽培等も実施。細かい具体例としては、ボイラーの缶体に付着している煤を除去し燃焼効率アップにつなげることができた（以前より5%程度効率アップ）。当社もまだ業績が好調というわけでもないため、今年度についても小さい効果ではあるが、地道な活動を展開してまいります。</p>
第20-0003号 ㈱東牧土木	<p>目標としている取り組みは日常的になっております。</p> <p>今後も引き続き、環境負荷の低減に努めていきます。</p>

登録番号 事業所名	取組の感想
第20-0004号 株ネエチア	<p>今期（平成26年7月～平成27年6月）は、前年度に引き続き間接的に環境負荷を減らす事を目的として、次の3点を基にEMSの運用を行いました。</p> <p>(1) EMS委員会は業務組織に合わせて運用する。 (2) 本来業務とISO活動を完全に一体化される「目標監理」を設定する。 (3) 「目標管理表」の目標項目には、全社共通目標を考慮し項目を設定する。</p> <p>今期、残り1ヶ月目標の達成実現へ向け精進いたします。 次年度は、概ね昨年と同程度の省エネ活動を引き続き実施いたします。今年度の取り組みは、かような内容となっております。</p>
第20-0005号 有青柳商店	<p>事務所内の節電、コピー用紙の両面印刷、配達車両のルートの見直し、回収した缶、ビン、ペットボトル類の分別の徹底を行っております。</p>
第20-0006号 株山勝	<p>当社はISO14001の取り組みの中で工場設備の電気使用量の削減を恒常的に取り組んでいる。</p> <p>今回も前年同様電気使用量や燃料使用量は「削減」の結果となった。これは企業努力としての使用しないトラックの削減や外部要因としての製造業の景気低迷による工場稼働の縮小並びに運搬量の減少に起因するものと判断している。</p>
第20-0007号 株栄和産業	<p>平成26年度は節水・節電での資源を大切にすることと5S活動で環境にどのような効果が表れるかを考えながら「身近なエコ活動」をテーマに取り組み、その効果を実感する事ができました。今後もテーマを考えながら社内の環境意識向上に努めたいと思います。</p>
第20-0008号 株タズミ	<p>平成26年度も継続して、焼却されていた廃棄物の燃料化を推進し、自治体からの一般廃棄物・産業廃棄物や食品系製造事業所からの産業廃棄物等の燃料化を推進し、平成26年度は10,719トン燃料として販売し利用されました。</p> <p>また、環境負荷低減(地球温暖化防止対策等)の取り組みとしては、エコドライブによる燃費向上策は継続的に実施し効果を維持するとともに、工場部門では整備保全や原料の調合の工夫により、生産性を大幅に改善し、使用した電力や水は、原単位で大幅に減少させることができた。</p> <p>さらに事務用什器類の更新や備品の購入については、環境負荷の少ない製品（グリーン購入品など）の購入に努めました。</p>
第20-0009号 株デザインルーム	<p>少しずつ取り組みの内容を増やしていけたら良いと思います。</p>
第20-0013号 有協和商事	<p>さらに新しい取り組みも増やし、今後も積極的に取り組んでいきたいと思ひます。</p>
第21-0001号 株KYOEI	<p>昨年同様の目標での取り組みでしたが、あまり良い結果を出すことができませんでした。</p> <p>電気料金の基本料が上がったのが大きな要因かもしれませんが、各個人の気持ちの薄さの表れだと思います。</p> <p>これから更に暑くなるので電気に関しては難しい目標ではありますが、他の目標は達成できるよう取り組んでいきたいと思ひます。</p>

登録番号 事業所名	取組の感想
第22-0001号 株式会社紺野企業	<p>今般、行った取組として、例年どおり敷地内の緑化にゴーヤとサンパチェンスと一緒に植えるグリーンカーテンにより、さらなるCO2削減を行ったことと、新規施設として機械選別施設を設置し金属くず（スチール缶、アルミ缶）、PETボトル、ガラス瓶等の選別を開始しました。カーボンオフセットも導入し受入れ廃棄物に対してオフセット（相殺）していくことを採用しております。</p> <p>当事業所では、継続的に行われているエコアクション21の環境活動の中で主に燃料使用量の削減や工場設備の電気使用量の削減並びに排出抑制のための紙の使用量の抑制に取り組んでまいりました。</p> <p>燃料使用量に関しては、車両の増車に伴う低公害車、低燃費車の導入を行い、ガソリン使用量の削減に努めてまいりました。</p> <p>工場設備の工場、倉庫の増設に伴い電気使用量を削減をするためスマートメーターの導入とミスト噴霧器を導入し周囲の気温を低減する取組、使用量の把握とともに削減を継続的に行っています。</p> <p>紙の使用量の排出抑制をするために使用済みの用紙の裏紙使用。両面印刷の徹底を継続的に行っています。</p>
第22-0002号 横浜乳業株式会社	<p>エネルギー使用量削減の取り組みを継続し、電力、燃料、用水の使用量を削減することができました。</p> <p>毎月、エネルギー使用量、削減量を集計して各職場へ報告。削減目標値未達の職場へは、取組活動の見直しや追加を行ってきました。</p> <p>今後は、エネルギーの使用先と合わせて、供給側でも削減できる取り組みをしていきます。</p> <p>廃棄物に関しては、全従業員を対象に教育として分別テストを実施しています。点数が低い従業員には再教育を行って、分別の徹底とリサイクル化を推進し、廃棄物発生量の抑制に努めています。</p>
第22-0003号 株式会社川崎製作所	<p>節電意識が浸透し、時間帯による消灯活動は実施できている。 洗浄作業で使用する水等、節減できる範囲で今後削減していく。 継続して、工場内の水銀灯のLED化を検討していきたい。</p>
第24-0002号 有限会社飯室商店	<p>『資源だから分別』がごく当たり前のことになってきました。 弊社敷地内の分別ステーションもいつもキレイにご利用いただいています。感謝！ そして事務所壁面緑化のゴーヤ8株からは、手のひらサイズの実が50個以上収穫できました。 実際に涼しいだけでなく、近隣工場のみなさまにもおすそ分けができ、おいしく楽しい交流の場となりました。</p>
第24-0004号 株式会社あやせ電気	<p>「あやせエコっと21」に取り組み、従業員ともどもいろいろ意識改革を行っています。</p>
第24-0005号 有限会社中電社	<p>平成26年度の照明器具販売比率は約8割がLEDでした（水銀灯、蛍光灯が2割、白熱は0）。非常用照明や誘導灯等の防災照明も昨年末、LEDが認定されましたので、更なる普及が見込まれることと思います。新築物件、改修工事では、今やLEDが当たり前となりました。器具性能も年々進化しエネルギー効率が良くなってきております。価格も安くなってきたこともありますが、消費者（個人法人問わず）の省エネ意識が一昨年より格段に上がっていると感じました。</p> <p>従来通りの取組ですがアイドリングストップは達成率20%程度でした。達成率を上げるように努めていきます。オフィス関連、建築副産物の再利用等は100%で定着しております。</p>
第24-0006号 株式会社かなしんオフセット	<p>社内で環境負荷の低減、産業廃棄物の減量の取り組みを行っており、コピーの使用量については、2014年は前年比10.7%減と大きな成果となりました。本年も継続して活動を行っていきます。</p>
第25-0001号 株式会社武田商事	<p>取り組みの幅も広がり精度も上がってきていると思う。 まだまだ気付いていない出来る事があると思うので、引き続き意識して努力していきたい。</p>

登録番号 事業所名	取組の感想
第25-0002号 秋本食品(株)	当社はISO9001、14001の認証工場であり、社員全員にISO教育を行っている。製造工程で出る野菜残さも、排出時に水切りをし、発生抑制に取り組んでいる。
第25-0003号 (株)高座豚手造り ハム	社員が環境意識を持ち取り組みましたが、休み時間など一斉に取らない場合が多いので、なかなか全て消灯というわけにはいきませんでした。これからもできることを地道に行うことで環境へ配慮した取り組みをしていきたいです。
第25-0004号 (有)パレト・モンパル	お客様に商品をお渡しする時、進物の時は紙袋等に入れます。生物は、落としても困るのでビニールに入れてお渡します。なかなかこのルールを変えることが出来ません（たまに、エコバッグ後持参の方がいらっしゃいます）。
第25-0005号 (有)矢部商店	節電や包材の削減など身近にできるところを重点的に気をつけました。大きすぎる目標を立てると取り組みが難しくなるので、すぐにできることを日々意識して行いたいと思います。
第26-0001号 エムケーチーズ (株)	電気・ガス・用水と廃プラや汚泥といった廃棄物をターゲットとして、社内で原単位削減目標を設定し各職場単位で活動を行い、月1回の定例活動報告会では全職場責任者が意見交換をして活動に努めております。掲げた目標は全社をあげて達成するように努力しており、今後も省エネ・廃棄物抑制などのエコ活動を行っていきます。
第26-0002号 (有)北の台文具	車の環境社会において、アイドリングストップ走行は環境にやさしいと思い実行しました。店内の温度設定はLED蛍光灯を使用のため、熱を持たないので店内の温度上昇をある程度防げる。
第26-0003号 (株)細川工務店	作業場の中はもちろん道路も清掃している。みんなが片付けるようになり、取り組んでよかった。
第26-0004号 大平食品加工(株)	取組初年度ということもあり、使用電気量の削減から始めてみました。1年経過し全社員の省エネへの意識が変わってきたと感じております。引き続き継続し、環境負荷の少ない工場を目指して参ります。
第26-0005号 岡部鉄工(株)	弊社といたしましては、電気量の削減＝環境負荷の低減であると考えております。よって、引き続き仕事に差し支えない範囲で「大変よくできた」となるよう、皆でコツコツと取り組み努力してまいりたいと思っております。
第26-0006号 明電ケミカル(株) 相模事業所	照明設備のLED化は計画達成できた。しかし、電力量の削減は「製品構成の変化に伴う工程変更」の影響が予想外に大きく、計画未達となった。2015年度は、電力使用量削減に再度トライする。
第26-0007号 ホーム食品(株)	目標を掲げることで個々の意識も向上し効率よく取り組みことができたと思います。引き続き継続するとともに、新たな目標を掲げ環境負荷を低減させ環境にやさしい企業へと努めて行きます。
第26-0008号 東ソー(株)東京研 究センター	平成26年度より「あやせエコつと21」活動に参加しました。従来より廃棄物の分別回収や燃料・電気等エネルギー削減対策など、独自に環境負荷低減への取り組みを実施しておりましたが、昨年度についても、冷蔵庫・エアコン等からのフロン適正回収処理、居室照明器具や水銀灯の段階的LED化、省エネ型空調設備の導入など実施しております。普段から気をつけているつもりでも目標を設定して取り組んでみると、あらためて環境・省エネへの取り組みの重要性に気付かされました。今年度もより一層努力して参ります。
第26-0009号 日本蛍光化学(株)	従来より取り組んでいた内容でしたが、改めて環境への配慮を確認することができました。今後は新たな目標を追加できるよう努めてまいります。
第26-0010号 東急リネンサプ ライ(株)相模工場	社員、パート従業員が意識を持って取り組みました。取り組み内容は少なかったかもしれませんが、全員が簡単に取り組める内容にしました。